

- 展示解説員が博物館の見どころを紹介します -

このようなお墓を知っていますか？

ちかしきよこあなぼ

地下式横穴墓は、宮崎県南部と鹿児島県の一部に見られる南九州独特の古墳時代のお墓です。主に5世紀から6世紀にかけてつくられました。地表から2mほどのたて穴を掘り、そこから横に掘り進んで遺体を埋葬する部屋をつくりま^{まいそ}す。歴史展示室にある模型は内部の様子を表しており、3体の人骨と亡くなったばかりの遺体(亡くなった人)がおさめられています。一度に亡くなったのではなく、人が亡くなる度にたて穴を掘り返し、奥から順番に葬^{ほうむ}っていきました。

これを「追葬^{ついそう}」といいます。この地下の空間が密封されているため、人骨や一緒に入れた剣・刀などの鉄器の保存状態がよいことが特徴です。ぜひ、このお墓を見に2階展示室に足を運ばれてはいかがでしょうか？

地下式横穴墓



「音えんぴつ」はじめました

昨年の秋から、博物館のあちこちに四角い数字の書かれたプレートが現れたことをご存じですか？これは博物館おすすめの展示の目印で、1階2階合わせて70箇所設置されています。

昨年の9月、博物館では「音えんぴつ」という音声ガイドを導入しました。英語・中国語・韓国語・日本語の音声で、特に外国人来館者に博物館

おすすめの展示を紹介するものです。

今回音声ガイド「音えんぴつ」を導入したことで、たくさんの展示物をより詳しく言語音声で紹介できるようになりました。外国人やそのお友達と一緒にたくさんの来館者の方々にご利用いただいています。引き続き、私たち展示解説員も随時解説を行っています。ご希望の際は遠慮なくお声かけください。



目がルビーのように赤く輝くことから名付けられた、世界中で宮崎県と高知県にかけての沿岸にしか生息しない日本最大の汽水魚は次のうちどれだろう？

① アカメ

① ヤマメ

① マンボウ

博物館
クイズ

× 4 2 ①... 1 2 3 4

